

# 「죽다」と「死ぬ」との対照研究

李 忠 奎\*

(e-mail : ch4229@hanmail.net)

## < 目 次 >

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1.はじめに             | 3.3. 相互の対応関係の見られない例   |
| 2. 辞書の意味記述         | 3.4. 補助形容詞「~어 죽다」の例   |
| 3. 具体的な分析          | 3.5. 合成語「~죽음」と「~死に」の例 |
| 3.1. 単純動詞の逐語訳の例    | 4. まとめと今後の課題          |
| 3.2. 動詞結語「~어 죽다」の例 |                       |

キーワード：죽다(die),死ぬ(die),対照研究(contrastive study),対応関係(correspondence),動詞結合(verb combination),補助形容詞(auxiliary adjective)

## 1.はじめに

韓国語の基本的な動詞の一つに「죽다」がある。これは人間の生死に関する動詞表現で、どの言語においても対応する語があるはずである。当然、日本語にも「死ぬ」という動詞が存在する。そして、(1)と(2)から確認できるように、基本的な意味においては「죽다」と「死ぬ」の間に対応関係が認められる。

- (1)a. 그는 위암으로 죽었다<sup>1)</sup>.  
b. 彼は胃がんで死んだ。  
(2)a. 도로에 고양이가 죽어 있었다.

\* 西原大学、助教授、韓日対照言語学

1) 出典が明示されていないものは作例である。また、辞書などから例文を引用する際は若干の修正を加えることもあるが、そのことを一々明記することはない。なお、本稿で挙げる全ての例文に対しては母語話者のチェックを受けている。

- b. 道路に猫が死んでいた。

両者の間には、この他にも色々表現上における類似点が見られるが、その一方で相違点も観察される。

- (3)a. 수많은 유대인들이 나치스에게 죽었다.

- b. \*多数のユダヤ人がナチスに死んだ。

- c. 多数のユダヤ人がナチスに殺された。（『朝鮮語辞典』：1599）

(3a)の「죽다」は「死ぬ」に対応しない。統語構造上、必須格として「~에게」格を選択するのが特徴で、意味の上で対応関係が認められるのは「殺される」である。

(4a)の場合も「死ぬ」には対応しない別の事例となる。

- (4)a. 연탄불이 죽어 있었다.

- b. \*練炭の火が死んでいた。

- c. 練炭の火が消えていた。（『朝鮮語辞典』：1600）

手元の辞書類を参考にすると、「죽다」と「死ぬ」の間に見られる以上のような類似点と相違点は簡単に確認できる。しかし、辞書の意味記述だけでは両者間の対応関係の全体像は把握しにくい。例えば、(5)のような例における相互の対応関係を辞書の意味記述だけで整理するのは非常に難しい。

- (5)a. 결국, 그는 굶어 죽었다.

- b. 結局、彼は飢えて死んだ。

- c. \*結局、彼は飢え死んだ。 cf. 結局、彼は飢え死にした。

これらの対応関係を整理するためには、意味のみならず、形態構造の問題も考慮に入れる必要があるが、それはかなり高度な分析力を要する作業になる。従来の研究ではこのような問題には注目していないようであり、今まで調べた範囲では「죽다」と「死ぬ」を対照言語学的観点から考察したものは見当たらない。結論的に両者の対応関係の全体像が把握できる参考資料はないというのが現状であると言える。

そこで、本稿では「죽다」と「死ぬ」を対象にして対照言語学の観点から考察を行い、両者間に見られる類似点と相違点をより具体的に提示する。このようにすることで両者の対応関係の全体像が把握できるようになり、その成果は日本語教育・韓国語教育の場のみならず、言語研究の分野においても有効な情報となるだろう。本稿の成果を似て、韓国人日本語学習者・日本人韓国語学習者・対照研究に携わりかつ外国語教育を行う研究者にとって有用な参考資料と成り得たら幸いである。

## 2. 辞書の意味記述

具体的な分析に入る前に、まず、「죽다」と「死ぬ」に関する辞書の意味記述を整理することにする。前者の意味については『표준국어대사전』と『고려대 한국어대사전』を、後者の意味については『デジタル大辞泉』と『大辞林(第三版)』を参考にした<sup>2)</sup>。なお、紙面の都合上、例文は最初のもののみを挙げ、番号などには適宜の修正を加えた。また、意図的に両者の意味が対照できるような形として提示したが、辞書の組み合わせは任意のものである。

〈表1〉 『표준국어대사전』と『デジタル大辞泉』の意味記述

<p>[1] 동사</p> <p>① 생명이 없어지거나 끊어지다. ㉮ 끊어 죽다.                  ② 불 따위가 타거나 비치지 아니한 상태에 있다. ㉮ 아궁이 불이 죽어 방 안이 썰렁하다.                  ③ 본래 가지고 있던 색깔이나 특징 따위가 변하여 드러나지 아니하다. ㉮ 옷에 풀기가 죽다.                  ④ 성질이나 기운 따위가 꺾이다. ㉮ 기가 죽다.                  ⑤ 마음이나 의식 속에 남아 있지 못하고 잊히다. ㉮ 그날의 기억은 이미 죽은 지 오래되었다.                  ⑥ 움직이던 물체가 멈추어 제 기능을 하지 못하다. ㉮ 시계가 죽는 바람에 늦잠을 잤다.                  ⑦ 경기나 놀이 따위에서, 상대방에게 잡혀 제 기능을 하지 못하다. ㉮ 포가 죽자 전세가 역전되었다.                  ⑧ 글이나 말 또는 어떤 현상의 효력 따위가 현실과 동떨어져 생동성을 잃다. ㉮ 그 글은 이제 죽은 글이 되었다.</p>	<p>① 命がなくなる。息が絶える。また、自ら命を断つ。㉮ 交通事故で死ぬ。                  ② そのもの本来の力や働きが果たされなかったり、うまく利用されなかったりする状態になる。活用されなくなる。㉮ 死んだ金                  ③ そのものがもっている生命感や価値がなくなる。生き生きたところが失われる。生気がなくなる。㉮ 陳列する場所を誤るとせっかくの絵も死んでしまう。                  ④ 動きなどがなくなる。やむ。㉮ 風が死ぬ。                  ⑤ 囲碁で、敵の石に囲まれて取られる。                  ⑥ 野球で、アウトになる。㉮ 一塁で死ぬ。</p>
---	---

2) 四つの辞書ともインターネット上で公開されているものであり、あくまでも便宜的な選定になるが、「죽다」と「死ぬ」の意味の概要を把握するには十分であろう。

<p>⑨ 상대방에게 으름장을 놓거나 상대방을 위협하는 말. ㉮ 너 늦으면 죽어.</p> <p>⑩(주로 ‘죽도록’, ‘죽어라(하고)’, ‘죽자고’ 따위의 꼴로 쓰여) 있는 힘을 다한다는 뜻을 이르는 말. ㉮ 죽도록 일하다.</p> <p>⑪(은어로) 감옥에 가다.</p> <p>[II] 보조형용사 (형용사 뒤에서 ‘-어 죽다’ 구성으로 쓰여) 앞말이 뜻하는 상태나 느낌의 정도가 매우 심함을 나타내는 말. ㉮ 배고파 죽겠다.</p>	
---	--

〈表2〉 『고려대 한국어대사전』と『大辞林(第三版)』の意味記述

<p>[I] 자동사</p> <p>①(생명체가) 생명이 끊어지다. ㉮ 어항 속의 물고기가 세 마리나 죽었다.</p> <p>②(기운이나 생기 따위가) 꺾여 없어지거나 누그러지다. ㉮ 대학 입시에서 낙방한 뒤 그녀는 풀이 죽어 있었다.</p> <p>③&lt;경거나 놀이 따위에서&gt;(사람이나 말) 상대방에게 잡혀 제 노릇을 못하게 되거나 쉬다. ㉮ 나는 슬래에게 잡혀서 죽고 말았다.</p> <p>④(기계 또는 움직이던 물체가) 작동되지 않거나 움직임을 멈추다. ㉮ 죽었던 스피커가 살아났다.</p> <p>⑤(불이나 불빛 따위가) 사그라져 꺼지다. ㉮ 난로의 불이 죽기 전에 기름을 더 넣도록 하세요.</p> <p>⑥(물체가) 본래 가지고 있던 색이나 특징을 잃다. ㉮ 은수저가 거뭇게 죽어서 못 쓰겠다.</p> <p>⑦(날이 선 대상이) 날카롭지 못하고 무디어지게 되다. ㉮ 이 칼은 날이 죽은 지 오래되어 쓸모가 없게 되었다.</p> <p>⑧(머리털의 한 부분이) 가라앉아 폭 꺼지다. ㉮ 자고 일어났더니 머리 한쪽이 이렇게 죽어 있네요.</p> <p>⑨(환경이) 생명체가 살기 어렵게 되다. ㉮ 공장 폐수로 인하여 강이 죽어 가고 있다.</p> <p>⑩(풀 따위의 뾰뾰한 기운이) 가라앉은 상태가 되다. ㉮ 배추가 잔뜩 소금에 절여 숨이 죽었다.</p> <p>⑪[주로 ‘죽도록’, ‘죽어라(하고)’, ‘죽자고’의 꼴로 쓰여](사람이) 있는 힘을 다하다. ㉮ 그는 그 일에 죽도록 매달렸지만 해내지 못했다.</p> <p>[II] 보조 동사 형용사의 연결 어미 ‘-어’ 뒤에 쓰여, 본용언이 나타내는 감정이나 상태의 정도가 심하여 극에 달함을 나타내는 말. ㉮ 공부가 하기 싫어 죽겠다.</p>	<p>①呼吸や脈がとまり、命がなくなる。㉮ 寿命をまっとうして死ぬ。</p> <p>②活気がなくなる。いきいきとした勢いをなくしている。㉮ 死んだ字を書く。</p> <p>③そのものの持つ力が発揮されなくなる。役に立たなくなる。㉮ 右の利き腕が死んでいる。</p> <p>④動きが止まる。㉮ 今朝は東にも西にも、全く風は死んでゐる。</p> <p>⑤囲碁で、相手に自分の石を囲まれて取られる。㉮ 隅の十目が死ぬ。</p> <p>⑥野球で、アウトになる。㉮ 同点の走者が死ぬ。</p>
--	---

このように整理してみると、1)例えば「배고파 죽겠다」「공부가 하기 싫어 죽겠

だ」のような「죽다」の「補助形容詞」「補助動詞」の用法は「死ぬ」にはなく、2) 全体的には「죽다」が「死ぬ」より守備範囲が広いように見受けられる。さしあたり、この二点を踏まえた上で、以下、次節においてより詳細な分析を行うことにする。

### 3. 具体的な分析

前節で見たように、市販の辞書では「死ぬ」より「죽다」の方が意味が細分化されている。従って、以下の分析では辞書の意味記述を参考にしつつ、「죽다」が用いられている種々の具体例が日本語ではどのように対応するのかという観点から整理していく<sup>3)</sup>。

#### 3.1. 単純動詞の逐語訳の例

まず、単純動詞として用いられている「죽다」とそれに「死ぬ」が対応する例から見てみよう。表3は手元にある計17種の辞書の意味記述を照らし合わせ<sup>4)</sup>、対等な対応関係が認められる具体例とその意味を整理したものである。

〈表3〉単純動詞の逐語訳の例とその意味

韓国語の例文	日本語の対応形	「죽다・死ぬ」の意味
교통사고로 죽었다.	交通事故で死んだ。	①命がなくなる。生命が尽きる。
죽었어. 자살했어.	死んだよ。自殺した。	②自分で命を絶つ。自殺する。
죽, 죽은 문장이다.	即ち、死んだ文章である。	③生き生きしていない。活気がなくなる。
산 돈과 죽은 돈	生きたお金と死んだお金	④ものの働き・価値がなくなる。
상대방의 죽은 돌	相手の死んだ石	⑤囲碁で相手方の石に囲まれてとられる。
3루에서 죽은 주자	3塁で死んだランナー	⑥野球で打者や走者がアウトになる。

3) 意味がより細分化されていることから、本稿では基本的には「죽다」を中心に分析を行うが、そのことが必ずしも「死ぬ」という日本語の語義を中心に分析を否定するわけではない。当然のことながら、考察の過程においては後者の分析方法を考慮しつつ、それを通して得られる成果を反映することもある。

4) 参考にした辞書は、以下のようものである。  
『고려대 한국어대사전』 『옛센스 국어사전』 『연세한국어사전』 『표준국어대사전』 (以上、韓国の国語辞典)、 『岩波国語辞典(第6版)』 『集英社国語辞典(第1版)』 『新明解国語辞典(第五版)』 『大辞林(第三版)』 『デジタル大辞泉』 『明鏡国語辞典(初版)』 (以上、日本の国語辞典)、 『新韓日辞典(例解)』 『옛센스 韓日辞典( 전면개정판)』 『프라임 한일사전(제2판 전면 개정)』 『朝鮮語辞典』 (以上、韓日辞典)、 『엘리트 일한사전』 『옛센스 日韓辞典(제4판 전면개정판)』 『프라임 일한사전(제3판 전면 개정)』 (以上、日韓辞典)

辞書の意味記述を参考にすると、概ね、この六つの意味において両者間に類似性を認めることができよう。これらの各意味として用いられる場合は、韓国語から日本語を見ても、日本語から韓国語を見ても「죽다」⇔「死ぬ」のような対応関係が成立するので、相対的に分かりやすく、理解に苦しむことはそれほどないと思われる。もし、日本語教育または韓国語教育の現場で具体例として両者を取り上げる機会があるのであれば、最優先に提示するのは上記の意味領域であって良いだろう。

### 3.2. 動詞結合「～어 죽다」の例

次に、見てみたいのは、動詞結合「～어 죽다」の例とそれらに対応する日本語訳である。表4は影山(1999: 206)の例を参考に、「～어 죽다」の具体例とその日本語訳を挙げたものである。

〈表4〉動詞結合「～어 죽다」の例と日本語の対応形

韓国語の例文	日本語の対応形 I	日本語の対応形 II
추위로 얼어 죽었다.	寒さで凍えて死んだ。	寒さで凍え死んだ。
불에 타 죽었다.	火に焼けて死んだ。	火に焼け死んだ。
3명이나 강에 빠져 죽었다.	3人も川におぼれて死んだ。	3人も川におぼれ死んだ。
넌어져 죽은 것은 꿈이었다.	転んで死んだのは夢だった。	*転び死んだのは夢だった。
벼랑에서 떨어져 죽었다.	崖から落ちて死んだ。	*崖から落ち死んだ。
스스로도 물에 잠겨 죽었다.	自らも水に沈んで死んだ。	*自らも水に沈み死んだ。
계단에서 굴러 죽었다.	階段から転がって死んだ。	*階段から転がり死んだ。

表4の「～어 죽다」の例は、1)形態構造的に「動詞語幹＋介在要素＋動詞」と分析できる(ex. 얼＋어＋죽다)、2)音韻上では後部要素の初頭子音で濃音化現象が生じない(ex. 얼어 죽[죽]다)、3)統語上の操作と関連して他要素による部分修飾が可能であり(ex. [꽁꽁 얼어] 죽다)、境界部である介在要素の直後に副詞などを挿入することができる(ex. 얼어서 죽다, 얼어서 많이 죽다)、4)意味上では前部要素を後部要素の直接的な「原因」とみることができ、後部要素は「죽다」の基本義である。また、意味の特殊化が見られない、という点で共通する。そして「日本語の対応形 I」にある「～て死ぬ」の各例は「～어 죽다」の各例と上記の四つのレベルにおける類似点が認められるものである(ex.1)凍え＋て＋死ぬ、2)凍えて死[し]ぬ<sup>5)</sup>、3)[かちかちに凍えて]死ぬ・凍えて

5) 韓国語の濃音化現象と対照できるようなものとして、日本語には連濁現象がある。「～て死ぬ」における後部要素の初頭子音では連濁現象は決して生じない。このことに関しては、李忠奎(2010a: 42-43)を参照されたい。

たくさん死ぬ、4)凍えることが原因で死ぬ)。つまり本稿では、形態・音韻・統語・意味の四つのレベルの諸特徴を考慮し、動詞結合「~어 죽다」類に優先的に対応するものとして「~て死ぬ」類を提示したのである。結果的に「~어 죽다」類⇔「~て死ぬ」類のような対応関係が成立し、この場合も3.1のような類似性を認めることができる<sup>6)</sup>。ただ、ここで考えなければならないのは「日本語の対応形Ⅱ」に挙げたものの存在可否、つまり、日本語に「凍え死ぬ」「焼け死ぬ」「おぼれ死ぬ」のような例は存在するのに対して、「\*転び死ぬ」「\*落ち死ぬ」「\*沈み死ぬ」「\*転がり死ぬ」のような例は存在しないという点である。これらの存在可否について、影山(1999:206)は「「状態変化と位置変化の両方を1つの述語を用いて表現することはできない<sup>7)</sup>」(中略) この制限は日本語の複合動詞にも当てはまりそうである。たとえば「死ぬ」というのは状態変化であるから、「V1+死ぬ」という複合動詞でV1に入ることができるのは、それ自体も状態変化を表す「凍える」や「焼ける」である。もし「死ぬ」の前に位置変化の動詞を付けると、不適格になる」と指摘しており、その具体例を以下のような形で提示している。ちなみに、野村・石井(1987:105)の『複合動詞資料集』にも「死ぬ」を後部要素とする複合動詞は(6a)の三例しか収録されていない。

(6) ~死ぬ(状態変化)

- a. 状態変化+死ぬ：凍え死ぬ、焼け死ぬ、おぼれ死ぬ
- b. 位置変化+死ぬ：\*ころび死ぬ、\*(崖から)落ち死ぬ、\*沈み死ぬ、\*転がり死ぬ

影山(1999)の分析に従うと、「\*転び死ぬ」「\*(崖から)落ち死ぬ」「\*沈み死ぬ」「\*転がり死ぬ」のような例が容認されないのは、一つの述語の中に位置変化を表す動詞と状態変化を表す動詞とが同時に含まれていることによる。ここで重要なのは「1つの述語の中に」という部分であり、これは「1語の中に」と言い換えられるものである。このことを踏まえた上で、表4の日本語の対応形Ⅰの具体例「転んで死ぬ」「落ちて死ぬ」「沈んで

6) ちなみに、窪菌(1995:51-57)は複合語を句構造と区別する基準として、形態・音韻・意味・統語の特徴を提示しているので参照されたい。なお、窪菌(1995:51-57)の分析や影山(1993:14)の「日本語の屈折は動詞なら「食べる、食べた、食べて、食べれば」等、形容詞なら「美しい、美しく」等の時制や接続形の語尾を指す。これらの形式は、そこで「語」という単位を閉じ、それ以上に何かが付くと句の領域に移る」という指摘、また寺靖幸(1992:59-94)などの他の研究の分析を総合して判断すると、表4の「~어 죽다」類と「~て死ぬ」類は「2語」である「句」、より正確には「動詞句」になる。

7) これは、Goldberg(1991;1995)の「一義的経路の制約(Unique Path Constraint)」を簡略にまとめたものである。詳しいことに関しては影山(1999:204-218)を参照されたい。

死ぬ」「転がって死ぬ」に目を向けると、これらは前述したように「動詞句」であり、従って、2語として上記の「1語に関わる制限」には引っかけられないため、適格に成立すると分析することができる。

問題は、(6a)の「凍え死ぬ」「焼け死ぬ」「おぼれ死ぬ」の存在である。これらは韓国語で「얼어 죽다」「타 죽다」「빠져 죽다」に訳せるが、これらが存在することで、結果的に韓国語を中心にした場合は「얼어 죽다⇒①凍えて死ぬ、②凍え死ぬ」のような対応関係が成立し、日本語を中心にした場合は「凍えて死ぬ・凍え死ぬ⇒얼어 죽다」のような対応関係が成立する、という分析が可能になる。ちなみに、このような対応関係のずれは、表5から確認できるように両言語の動詞結合の体系の中で、韓国語の方に「\*얼죽다」のような介在要素無しタイプの例が存在しないことから生じると分析できる。なお、表5の動詞結合の体系は李忠奎(2009)で提示した以来、李忠奎(2010b、2012b、2015)で一貫して主張してきたものである。

〈表5〉本稿における両言語の動詞結合の体系

	介在要素無しタイプ	介在要素有りタイプ
韓国語の動詞結合	動詞語幹+動詞 ex. *얼죽다	動詞語幹+ <span style="border: 1px solid black;">介在要素</span> +動詞 ex. 얼 <span style="border: 1px solid black;">어</span> 죽다
日本語の動詞結合	動詞語幹+動詞(但) ex. 凍え死ぬ	動詞語幹+ <span style="border: 1px solid black;">介在要素</span> +動詞(但) ex. 凍え <span style="border: 1px solid black;">て</span> 死ぬ

注：「但」は子音語幹動詞が前項動詞に立つ場合だけ、子音語幹直後に「i」母音を挿入せよという意味である。

また、日本語には「凍え死に」「焼け死に」「おぼれ死に」という名詞も存在し、後部要素は三つ共に「～死[じ]に」となって連濁現象が見られるが、「凍え死にする」「焼け死にする」「おぼれ死にする」のように「する」を後続させる動詞化の手続きを行うと、これらも「얼어 죽다」「타 죽다」「빠져 죽다」に訳すことが可能になる。すると、その対応関係は「얼어 죽다⇒①凍えて死ぬ、②凍え死ぬ、③凍え死にする」「凍えて死ぬ・凍え死ぬ・凍え死にする⇒얼어 죽다」のような形でより複雑になる。

ここでの議論を本稿の立場から整理すると、ポイントになるのは、1)動詞結合「～어 죽다」の例は、形態・音韻・統語・意味レベルの諸特徴を考慮した場合、2語である「動詞句」と認定することができ、対等な対応関係が認められるのは「～て死ぬ」の例である、2)「凍え死ぬ」「焼け死ぬ」「おぼれ死ぬ」のような一部の複合動詞が「～어 죽다」類に訳せるのは、両言語の動詞結合の体系を提示した上で適切に説明することが



可能である、3)韓国語を中心にした場合と日本語を中心にした場合とでは対応形へのアプローチが異なる(李忠奎2012a : 320-324)、という三点である。

### 3.3. 相互の対応関係の見られない例

次に見るのは、単純動詞として用いられている「죽다」が「死ぬ」には対応しない例である。表6は例の17種の辞書の意味記述を参考しつつ、両者間に相互の対応関係が認めない(または認めにくい)具体例<sup>8)</sup>とその際の「죽다」の意味を整理したものである。

〈表6〉 相互の対応関係の見られない例とその際の「죽다」の意味

韓国語の例文	日本語の対応形	「죽다」の意味
적군에게 죽은 아군	敵軍に殺された味方	①(～에게 죽다の形で)～に殺される。
난롯불이 죽어 있다.	ストーブの火が消えている。	②(炭火等が)消える。
꽃병의 꽃이 죽어 있다.	花瓶の花が枯れている。	③(花・草木等の植物が)枯れる。萎れる。
옷 색이 죽어 버렸다.	服の色があせてしまった。	④(本来の色・つや等が)なくなる。あせる。
혼나서 기가 죽어 있다.	叱られてしよげている。	⑤(人の性質・生氣等が)衰える。しよげる。
손목시계는 죽어 있었다.	腕時計は止まっていた。	⑥(機械等動いていたものが)止まる。
날이 죽은 칼	刃が鈍くなった刀	⑦(刃物が)鈍くなる。
까불면 죽어.	ふざけたりしたらひどい目にあうぞ。	⑧相手を脅かす語
죽어라 공부만 한다.	かむしゃらに勉強ばかりする。	⑨(主に '죽어라 (하교)·죽자고'等の形で) 'ありったけの力を尽くして'の意を表す語
죽자고 들이 덤비다.	命知らずのようにつかかか。	
(많이 피곤할 때) 아이고 죽겠다.	(ひどく疲れた時)ああ、疲れた。	⑩(感嘆詞的に'죽겠다'の形で)程度がはなはだしい。じっとしてられないほどである。

辞書の意味記述を参考にすると、表6のような意味において「죽다」と「死ぬ」の間に対応関係のずれが指摘できそうである<sup>9)</sup>。この内、①の意味は『朝鮮語辞典』より引用したものであり、「～에게」を必須格として「～に殺される」という受身の意味を有するという点は、統語構造と意味の両面において注意を要することである<sup>10)</sup>。また、⑩の「아이고 죽겠다」という表現は様々な場面で頻繁に用いられる韓国語特有の言い方であり、その際の日本語の対応形は「\*ああ、死ぬよ」のような形にはならず、状況や場面ごとに適切なものを選択する必要がある。例えば、ひどく疲れた時に韓国人がよく発する「아이고 죽겠다」は「ああ、疲れた」が自然な対応形になると思われるが、急に腹部に激痛が走っ

8) ここには「죽다」を「死ぬ」に対応させると、日本語として不適格とまでは言えないが、自然さがかなり落ちる場合も含める。  
 9) 但し、表6はあくまでも辞書の意味記述を参考にして適宜整理した結果であり、意味をどこまで細分化するかという問題があるので、対応関係のずれが見られる用例とその意味を網羅したものであるとは言えない。  
 10) 日本で出版された『朝鮮語辞典』には当該の意味が「죽다」のプロトタイプの意味の次である二番目に収録されている。おそらく、四名の編集委員も日本語母語話者にとってこの意味は要注意であると判断したであろう。

て思わずに「아이고 죽겠다」と発した場合なら「ああ、痛っ」という対応形も考えられる<sup>11)</sup>。

表3・表4の例と比べると、表6の例は相違点の見られる具体例になり、また、その中には韓国語特有の表現も含まれているので、教育の現場、特に、日本人母語話者を対象にする韓国語教育の現場では、3.1.の例と対照的なものとして「죽다」⇔「死ぬ」のような単純な対応関係を適用することがないように指導するのがポイントとなるであろう。

### 3.4. 補助形容詞「～어 죽다」の例

韓国語「죽다」には形容詞や動詞に後続し「～어 죽다」の形で、その形容詞や動詞の持つ意味の程度が甚だしいことを表す用法がある。『표준국어대사전』に従い、本稿では「補助形容詞」の用法と見なすが、韓国語では頻繁に用いられる言い方で、具体例としては以下のような用例を挙げることができる。

- (7)a. 진짜 귀여워 죽겠네.  
 b. 표정 봐라. 아주 좋아 죽네 죽어.  
 c. 웃겨 죽는 이야기  
 d. 로션도 없고 지금 얼굴 땅겨 죽겠다.

具体的に見ると、前部要素には前から順に「귀엽다」「좋다」という形容詞と「웃기다」「(얼굴이) 땅기다」という動詞が立っており<sup>12)</sup>、後部要素「죽다」は「죽겠네」「죽네 죽어」「죽는」「죽겠다」のような活用形で用いられている。そしてこれらが発せられる状況などを考慮し、自然な日本語で対応させると、以下のような例文が挙げられる。

- (8)a. 本当に可愛くてたまらない。  
 b. 表情見てみ。すごく嬉しがるよな。  
 c. おかしくてたまらない話  
 d. スキンローションもないし、今、顔が突っ張ってたまらない。

11) 『鯨とり 対訳シナリオで学ぶ韓国語』には、以下のような台詞とその日本語訳があり、併せて参照されたい。

· 부하: 고춧가루. 야크쟈たち: とがらした。

· 부하: 아이 눈이야. 야크쟈たち: ああ、目が。

· 포주3: 어딜 가 이겨. 아이구 나 죽네. 야크쟈3: 逃がすかっちゅーの。ああ、痛え。

12) 『표준국어대사전』と『고려대 한국어대사전』を参考にすると、前部要素に立つのは形容詞のみであるように見受けられるが、動詞も来ることができる。「떨려 죽겠다」「긴장돼 죽겠네」「요즘 살찌 죽겠어」などの例も前部要素に動詞の来る用例である。

二節で確認したように、日本語の国語辞典には「死ぬ」の補助形容詞としての用法は収録されておらず、(7)の例文を以下のような形に対応させると、自然な日本語として成立するとは言いにくくなる。

- (9)a. ?本当に可愛くて死ぬよ。
- b. ?表情見てみ。すごくよくて死ぬよな、死ぬね。
- c. ?おかしくて死ぬ話
- d. ?スキンローションもないし、今、顔が突っ張って死ぬよ。

すると、この用法は「죽다」と「死ぬ」の間に見られる一つの相違点とみることができそうである。ただ、ここで相違点と断定できなかつたのは、日本語においても以下のような表現が存在するからである。

- (10)a. 最近、忙しくて死にそうだよ。
- b. 毎日毎日、退屈で死にそうです。
- c. 今、本当に腹減って死にそう。

(10)の下線のところは、韓国語では「바빠 죽을 것 같아」「심심해 죽을 것 같아요」「배고파 죽겠다」に訳せるので、日本語においても「～て死にそうだ」という形で(7)のような言い方があることはある。ただ、当該の言い方は、(11)～(28)の例文から見取れるように、補助形容詞「～어 죽다」の例に比べると、さほど頻繁には用いられていないようであり、このことは表7で挙げた複数の韓日辞典の例文を確認することからでも窺える。なお、(13)～(24)の例文は金井(2004)の『『美しき日々』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』より、(25)～(28)の例文は安岡(2004)の『『オールイン運命の愛』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』より採集したものである。

- (11)a. 어제 신발을 샀는데 예뻐 죽겠어요.
- b. ?昨日靴を買ったんですけど、ものすごくかわいくて死にそうですよ。
- c. 昨日靴を買ったんですけど、ものすごくかわいいんですよ<sup>13)</sup>。

13) 「タルジャの春～(6)죽겠다」の説明より引用したものである。  
([http://world.kbs.co.kr/japanese/program/program\\_koreadrama\\_detail.htm?No=74](http://world.kbs.co.kr/japanese/program/program_koreadrama_detail.htm?No=74))(검색일: 2016.03.04.)

- (12)a. 매일 '공부 공부' 정말 지겨워 죽겠어요.  
 b. ?毎日「勉強、勉強」本当にうんざりして死にそうですよ.  
 c. 毎日「勉強、勉強」本当にうんざりですよ.
- (13)a. 민지 : (소리지르는) 나갈거야! 나도 이런 집구석 싫어! 싫어 죽겠다구!  
 b. 민지 : (叫ぶ) 出て行くわよ! あたしもこんな家、嫌! 大嫌い! (p.43)
- (14)a. 세나 : 나만 보면 너무너무 걱정되고 미안해 죽겠다는 그 얼굴!  
 b. 세나 : あたしを見るだけでとても心配になって、申し訳なくてたまらないっていうその顔!  
 (p.58)
- (15)a. 연수 : 아까워. 나도 아까워서 죽겠어14).  
 b. 연수 : もったいないわよ。私だってもったいなくてしょうがない。(p.90)
- (16)a. 민철 : (민지가 대견스러워 죽겠다는 얼굴로 민지의 머리를 쓰다듬으며) 고맙다!  
 b. 민철 : (大變感心したという顔でミンジの頭をなでながら) ありがとう! (p.132)
- (17)a. 나래 : (털썩 주저앉으며) 좀 쉬자! 카메라맨 힘들어 죽겠다!  
 b. 나래 : (べたっと座り込んで) ちょっと休もう! カメラマンって大變ね! (p.134)
- (18)a. 민지 : (궁금해 죽겠다는 얼굴로 나간다)  
 b. 민지 : (気になって仕方がないという顔で出て行く) (p.256)
- (19)a. 나래 : 연수야! 말 좀 해봐! 답답해 죽겠다.  
 b. 나래 : 연수! 何か言ってよ。いらいらする。(p.321)
- (20)a. 민철 : 그 불쌍한 눈으로 날 쳐다볼 생각하면 부담스러 죽겠다구!  
 b. 민철 : その哀れな目で僕を見つめていると思うと、気が重くてしょうがないんだ!  
 (p.327)
- (21)a. 호테 : 바빠 죽겠는데 지금 뭐하고 있는 거야?  
 b. 호테 : 死ぬほど忙しいってのに、何をしてるんだ。(p.327)
- (22)a. 나래 : 몸도 안 좋은데 너 시집살이 할 생각하니까 걱정돼 죽겠다.  
 b. 나래 : 体も良くないのにあんたが嫁暮らしすると思うと、心配でたまらないわ。(p.451)
- (23)a. 선재 : 안 그래도 아까워 죽겠는데, 그렇게 이쁘니까 더 아깝잖아요.  
 b. 선재 : それでなくても残念でしょうがないのに、あんなにきれいだから余計残念になっちゃうじゃない。(p.452)
- (24)a. 세나 : 오빠! 속상하지? 속상해 죽겠지?  
 b. 세나 : ソンジェ! 悔しいでしょ? 悔しくてたまらないでしょ? (p.465)

14) 文の意味が大きく変わらない範囲で {―서} は省略可能なので、他の例と同類のものとして採集した。

- (25)a. 치수 : 이 자식이... 안 그래도 열받아 죽겠는데.  
 b. チス : この野郎。いい加減頭<sup>かま</sup>にきてる<sup>ま</sup>ってえのに、(p.22)
- (26)a. 수연 : 어젯밤부터 집 앞에 이상한 사람들이 서성거려요. 아빠를 찾는 거 같은데 불안해 죽겠어요.  
 b. 스연 : 夕べから家の前を怪しげな人たちがうろうろしてるんです。父さんを捜しているようで、不安でたまらないわ。(p.49)
- (27)a. 수연 : 웃지 말아요. 속상해 죽겠는데.  
 b. 스연 : 笑わないで。しゃくにさわってしかたないんですから。(p.145)
- (28)a. 인하 : 숨이 막혀서 가슴이 답답해 죽겠어.  
 b. 이나 : 息が詰まり、胸が苦しくて死にそうだ。(p.193)

〈表7〉 補助形容詞 「~어 죽다」의 韓日辞典의 用例

韓国語의 例文	日本語의 対応形	出典
배고파 죽겠다.	とてもひもじい；腹がへってたまらない。	『옛센스 韓日辞典(전면개정판)』
	とてもひもじい；腹がへってたまらない。 腹が減ってたまらない。	『프라임 한일사전(제2판 전면 개정)』 『朝鮮語辞典』
우스워 죽겠다.	おかしくてたまらない。	『옛센스 韓日辞典(전면개정판)』
	おかしくてたまらない。	『프라임 한일사전(제2판 전면 개정)』
더워 죽겠다.	暑くてならない	『옛센스 韓日辞典(전면개정판)』
	暑くてかなわない。	『프라임 한일사전(제2판 전면 개정)』
불쌍해 죽겠다.	かわいそうでたまらない。	『옛센스 韓日辞典(전면개정판)』
보고 싶어 죽겠다.	会いたくてたまらない。	『朝鮮語辞典』
가려워 죽겠다.	かゆくてたまらない。	『朝鮮語辞典』

また、油谷・金(2007: 82-85)は、「連用形による拡張構文」の最後の事例として「激甚: ~てたまらない -아/어 죽겠다」を提示し、その例文として「23) 腹が立ってたまらない 화가 나 죽겠다」と「24) 寒くてたまいません 추워 죽겠어요」を挙げているが、この例からでも「~て死にそうだ」の守備範囲の狭さが窺える。

表現自体の繰り返される度合いを意味する「使用頻度」と前部要素に立つことができる具体例の範囲を意味する「使用範囲」の二つの観点からすると、「~て死にそうだ」より補助形容詞「~어 죽다」の方が使用頻度が高く、使用範囲も広いと言える。

以上の議論を本稿では以下のように整理する。

- (29) 前部要素の程度が甚だしいことを表す補助形容詞「~어 죽다」は頻繁に用いられる表現であり、その対応形として日本語では「~て死にそうだ」という言い方が挙

げられる。しかし、後者より前者の方が使用頻度が高く、使用範囲も広い。従って補助形容詞「～어 죽다」の対応形としては「～てたまらない」「～てしかたがない」「～てしょうがない」「～てならない」という言い方か、近いニュアンスを持つより適切な別の言い方を選択するのが自然な場合が多い。

### 3.5. 合成語「～죽음」と「～死に」の例

最後に、「죽다」と「死ぬ」から派生した転成名詞「죽음」と「死に」が合成語(複合語・派生語)の後部要素として用いられている例を見てみよう。表8は合成語「～죽음」の幾つかの例とその日本語の対応形・例文を挙げたものである。

〈表8〉合成語「～죽음」の例とその日本語の対応形・例文

韓国語	日本語の対応形	例文
개죽음	犬死に	개죽음을 당하다. ⇔ 犬死にする。
떼죽음	集団死	떼죽음을 당하다. ⇔ 集団死になる(→集団で死ぬ)
반죽음	瀕死・半死・半殺しになること	반죽음을 당하다. ⇔ 半殺しの目に遭う。
생죽음	非命の死・非業の死・横死	사고로 생죽음을 당하다. ⇔ 事故で非業の死を遂げる。
과죽음	ぐったりすること・へたばった状態	지금 과죽음 상태다. ⇔ 今、ぐったりした状態だ。

具体的にみると、「개죽음」の場合は「犬死に」が対応し、外観上ではそのまま逐語訳したような対応関係を示す<sup>15)</sup>。両方とも「名詞+転成名詞」の型を取っており、形態構造的には「초읽기⇔秒読み」「창던지기⇔やり投げ」「손톱깎이⇔爪切り」のような例と同類に分類することができる<sup>16)</sup>。これに比べて、他の「떼죽음」「반죽음」「생죽음」

15) 「개죽음」と「犬死に」における「개-」と「犬-」は<無駄で何の役に立たない>という意味の接頭辞である。以下の『표준국어대사전』『デジタル大辞泉』の意味記述を参照されたい。

개-	①(일부 명사 앞에 붙어) ‘야생 상태의’ 또는 ‘질이 떨어지는’, ‘흡사하지만 다른’의 뜻을 더하는 접두사. ㉠ 개금/개꽃/개떡/개살구/개철쭉 ②(일부 명사 앞에 붙어) ‘헛된’, ‘쓸데없는’의 뜻을 더하는 접두사. ㉡ 개꿈/개수작/개죽음 ③(부정적 뜻을 가지는 일부 명사 앞에 붙어) ‘정도가 심한’의 뜻을 더하는 접두사. ㉢ 개망나니/개잡놈
犬-	①卑しめ軽んじる意を表す. ㉠ 犬侍 ②むだで役に立たない意を表す. ㉡ 犬死に ③よく似てはいるが、実は違っているという意を表す. ㉢ 犬蓼(たで)

ちなみに、最近は「개이득, 개무시, 개노력, 개짜증, 개미남, 개오버」「개귀없다, 개멋있다, 개이쁘다, 개잘생겼다, 개못생겼다, 개좋다, 개맛있다, 개재미없다」「개짜증난다, 개박친다, 개웃겨」のような例も観察され、「개-」の③の用法が拡大しつつあることも興味深い。

16) 「秒読み」「やり投げ」「爪切り」は、それぞれ「秒を読む」「やりを投げる」「爪を切る」のような構造を想定することができるのに対して、「犬死に」は「\*犬を死ぬ」のような構造は想定不可能で、実際に「犬が死

음」の場合は「名詞+転成名詞」の型に逐語訳した「\*群死に」「\*半死に」「\*生死に」のような形には対応されない。それぞれ「集団死」「瀕死・半死」「非命の死」などの訳が当てられており、「과죽음」の場合も逐語訳した形ではない「ぐったりすること・へたばった状態」のような訳が対応している<sup>17)</sup>。

そして、表9は『逆引き広辞苑(第五版対応)』に収録されている計40個の「～死に」を対象に、小型辞典である『岩波国語辞典(第6版)』『集英社国語辞典(第1版)』『新明解国語辞典(第五版)』『明鏡国語辞典(初版)』に見出し語として収録されているかどうかということに加え<sup>18)</sup>、『프라임 일한사전(제3판 전면 개정)』の意味記述を適宜整理したものである。

〈表9〉 合成語「～死に」の例とその韓国語の対応形

具体例	読み方	岩	集	新	明	『프라임 일한사전』の意味記述
①相対死に	あいたいじに	×	×	×	×	정사(情死), 쌍폐(双斃)
②熱死	あつちじに	×	×	×	×	×
③阿呆死に	あほうじに	×	×	×	×	×
④案じ死に	あんじじに	×	×	×	×	×
⑤生き死に	いきしに	×	○	○	×	생사, 삶과 죽음
⑥徒死	いらずらじに	×	×	×	×	×
⑦犬死	いぬじに	○	○	○	○	개죽음
⑧餓え死に	うえじに	○	○	○	○	아사, 굶어 죽음
⑨討死	うちじに	○	○	○	○	전사(戰死)
⑩怨み死に	うらみじに	○	×	○	×	원한이 맺혀 죽음
⑪溺れ死に	おぼれじに	○	○	×	×	물에 빠져 죽음, 익사
⑫思い死に	おもいじに	×	×	○	×	애타게 그리워하다 죽음
⑬飢え死に	かつえじに	×	×	○	×	아사, 굶어 죽음
⑭切り死に	きりじに	○	○	○	○	난전(亂戰) 중에 칼 맞아 죽음
⑮腐り死に	くさりじに	×	×	×	×	×
⑯縊れ死に	くびれじに	×	×	×	×	목매달아 죽음, 액사, 목이 졸려 죽음
⑰狂い死に	くるいじに	○	○	○	○	광사, 미쳐 죽음
⑱恋死に	こいじに	×	×	×	×	상사병으로 죽음
⑲焦れ死に	こがれじに	○	○	○	○	애타게 그리다가 죽음
⑳凍え死に	こごえじに	×	○	○	× <sup>19)</sup>	× <sup>20)</sup>
㉑叫び死に	さけびじに	×	×	×	×	×
㉒空死に	そらじに	×	×	×	×	짐짓 죽은 체험

ぬ」という意味でもないので、意味構造的には「秒読み」類と「犬死に」は区別される。

17) 『표준국어대사전』には表8の例より相対的に高難度の例と言える「두벌죽음, 벼락죽음, 은사죽음, 초벌죽음」のような見出し語も収録されているが、これらも「名詞+転成名詞」型の逐語訳の形には訳されないという点は同じである。

18) 『新明解国語辞典(第五版)』の場合は、編集の仕方も考慮し、見出し語の「造語」として収録されている場合も含める。

㉓ 倒れ死に	たおれじに	×	×	×	×	×
㉔ 立死に	たちじに	○	○	×	○	×
㉕ 半ら死に	なからじに	×	×	×	×	×
㉖ 嘆き死に	なげきじに	○	○	○	×	비탄으로 죽음, 한탄하다가 죽음
㉗ 寝死に	ねじに	×	×	×	×	×
㉘ 野垂れ死に	のたれじに	○	○	○	○	길에서 쓰러져 죽음
㉙ 馳せ死に	はせじに	×	×	×	×	×
㉚ 早死に	はやじに	○	○	○	○	젊어서 죽음, 요절(夭折)
㉛ 乾死に	ひじに	○	○	○	×	아사, 굶어 죽음
㉜ 人死に	ひとじに	○	○	○	×	(뜻밖의 사고로) 사람이 죽음
㉝ 吠え死に	ほえじに	×	×	×	×	×
㉞ ほたえ死に	ほたえじに	×	×	×	×	×
㉟ 無駄死に	むだじに	×	○	×	×	무의미한 죽음, 개죽음
㊱ 悶え死に	もだえじに	×	×	×	×	괴로워하다가 죽음, 민사(悶死)
㊲ 焼け死に	やけじに	×	×	×	×	×21)
㊳ 病み死に	やみじに	×	×	×	×	×
㊴ 横様の死	よこざまのしに	×	×	×	×	×
㊵ 若死に	わかじに	○	○	○	○	젊어서 죽음, 요절

計40個の内、半数以上が小型辞典には収録されておらず、古語として日常会話で用いることはほぼないということが窺える。また、韓国語の対応形をみると、多くの例において「～死に」の直訳形である「～죽음」という訳が当てられていることが確認できる。

結論的に、表8と表9を通して合成語「～죽음」の例は直訳形「～死に」に対応されないものが相対的に多く、逆に合成語「～死に」の例は直訳形「～죽음」に対応するものが多いことを確認したことになる。

#### 4. まとめと今後の課題

本稿は「죽다」と「死ぬ」を対照言語学の観点から考察し、両者の間に見られる類似点と相違点を提示しようと試みたものである。考察の主な結果を提示すると、以下のように整理することができる。

19) 見出し語としては「凍え死ぬ」が収録されており、「凍え死に」は参考情報として載っている。

20) 見出し語としては「凍え死ぬ」；〈얼어 죽다, 동사하다〉が収録されている。

21) 見出し語として「焼け死ぬ」；〈불에 타 죽다, 소사(燒死)하다〉が収録されている。



〈表10〉 「죽다」と「死ぬ」の類似点と相違点

	考察の主な結果
類似点	両者共に、①<命がなくなる、生命が尽きる>、②<自分で命を絶つ、自殺する>、③<生き生きしていない、活気がなくなる>、④<ものの働き・価値がなくなる>、⑤<囲碁で相手方の石に囲まれてとられる>、⑥<野球で打者や走者がアウトになる>という意味を有する。
	「얼어 죽다, 타 죽다, 찌져 죽다」のような動詞結合「~어 죽다」類と「凍えて死ぬ、焼けて死ぬ、おぼれて死ぬ」のような動詞結合「~て死ぬ」類は、形態・音韻・統語・意味の四つのレベルの諸特徴を考慮した場合、2語である「動詞句」と認定することができ、両者の間には対等な対応関係が認められる。
	補助形容詞「~어 죽다」と「~て死にそうだ」という言い方は、前部要素の程度が甚だしいことを表すという点において類似性を認めることができる。
	合成語「~죽음」と「~死に」の事例として「개죽음」と「犬死に」は、形態構造上「名詞+転成名詞」の型を取っており、前部要素である「개-」「犬-」は<無駄で何の役に立たない>という意味の接頭辞として機能する。
相違点	「죽다」の①<(~에게 죽다の形で)~に殺される>、②<(炭火等が)消える>、③<(花・草木等の植物が)枯れる。萎れる>、④<(本来の色・つや等が)なくなる。あせる>、⑤<(人の性質・生氣等が)衰える。しよげる>、⑥<(機械等動いていたものが)止まる>、⑦<(刃物が)鈍くなる>、⑧<相手を脅かす語>、⑨<(主に '죽어라 (하고) · 죽자고'等の形で) 'ありったけの力を尽くして'の意を表す語>、⑩<(感嘆詞的に'죽겠다'の形で)程度がはなはだしい。じっとしてられないほどである>のような意味においては「死ぬ」が対応しない。この内、①の意味は特に日本語母語話者にとって要注意である。
	個別の事例として上の⑩の意味と関連する「아이고 죽겠다」という表現は様々な場面で頻繁に用いられる韓国語特有の言い方であり、その際の日本語の対応形は「*ああ、死ぬよ」のような形にはならず、状況や場面ごとに適切なものを選択する必要がある。
	前部要素の程度が甚だしいことを表す補助形容詞「~어 죽다」と「~て死にそうだ」という言い方は使用頻度・使用範囲という点において相違が見られる。後者より前者の方が使用頻度が高く、使用範囲も広い。従って、補助形容詞「~어 죽다」の対応形としては「~てたまらない」「~てしかたがない」「~てしょうがない」「~てならない」という言い方か、近いニュアンスを持つより適切な別の言い方を選択するのが自然な場合が多い。
	個別の事例として「떼죽음, 반죽음, 생죽음, 파죽음」のような合成語「~죽음」の例は、直訳形「~死に」には対応されず、「集団死、瀕死、非命の死、ぐったりすること」のような意味の通じる適切な訳を必要とする。

対照言語学の観点から「죽다」と「死ぬ」を詳しく考察したものが見当たらない現状の中で、表10のような研究結果を提示したのは一定の成果であると考えられる。教育の現場では類似点を先に提示した後、相違点を確認するという形で活用すれば良いだろう。

分析の過程において補助形容詞「~어 죽다」とその対応形として挙げられる「~て死にそうだ」について、その使用頻度や使用範囲などをより深く検討できなかったことは不十分な点と認めざるを得ない。また、韓国語特有の表現と言える「아이고 죽겠다」が用いられる状況や場面をより明確にし、その際の日本語の様々な対応形を提示することができなかったことも課題として残されている。その他に「최사장이 마음에 들면 내가 말려도

죽자 사자 달려들 겁니다(チェ社長が気に入ったら、私が止めたとしてもがむしゃらに突き進んでいくでしょう)」(安岡2004: 358)의 下線のような慣用句についても今回はほとんど考察することができなかった。これらの点に焦点を当てた分析は稿を改めて行うこととする。

### 【参考文献】

- 서정수(1992) 「합성어에 관한 문제」 『증보개정판 국어 문법의 연구Ⅱ』 한국문화사, pp.59-94.  
 李忠奎(2009) 『日韓語の動詞結合に関する対照研究』 北海道大学大学院文学研究科学位論文, pp.1-222.  
 ——(2010a) 「音韻レベルからみた日韓語の動詞結合-音韻現象の分析を通して-」 『日本文化学報』 第45輯、韓国日本文化学会, pp.25-46.  
 ——(2010b) 「日韓語の動詞結合の形成過程と分類-「日韓語の動詞結合形成モデル」の構築を通して-」 『日本文化学報』 第47輯、韓国日本文化学会, pp.83-100.  
 ——(2012a) 「日本語の「手段」動詞結合について-韓国語の「手段」動詞結合との対照も兼ねて-」 『日本言語文化』 第22輯、韓国日本言語文化学会, pp.305-327.  
 ——(2012b) 「韓国語の動詞結合の日本語訳について-内山(1997)の例を中心に-」 『日本語教育』 第62輯、韓国日本語教育学会, pp.143-161.  
 ——(2015) 「韓国語と日本語の動詞結合の体系-和田(2011)の批判的な検討を通して-」 『日本文化学報』 第64輯、韓国日本文化学会, pp.199-217.  
 影山太郎(1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房, p.14.  
 ——(1999) 『形態論と意味』 くろしお出版, pp.204-218.  
 窪蘭晴夫(1995) 『語形成と音韻構造』 くろしお出版, pp.51-57.  
 野村雅昭・石井政彦(1987) 『複合動詞資料集』 国立国語研究所, p.105.  
 油谷幸利・金恩愛(2007) 『韓国語実力養成講座① 間違いやすい韓国語表現100 初級編』 白帝社, pp.82-85.

### 【辞書類・その他】

- 『고려대 한국어대사전』 (2009) (<http://dic.daum.net/index.do?dic=kor>) 고려대학교 민족문화연구원.  
 『옛센스 국어사전』 (1996) 민중서림.  
 『연세한국어사전』 (1998) 두산동아.  
 『표준국어대사전』 (1999) (<http://stdweb2.korean.go.kr/main.jsp>) 국립국어연구원.  
 『岩波国語辞典(第6版)』 (2000) 岩波書店.  
 『逆引き広辞苑(第五版対応)』 (1999) 岩波書店.  
 『集英社国語辞典(第1版)』 (1993) 集英社.  
 『新明解国語辞典(第五版)』 (1997) 三省堂.  
 『大辞林(第三版)』 (<https://kotobank.jp/dictionary/daijirin/>) 小学館.  
 『デジタル大辞泉』 (<https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/>) 小学館.

『明鏡国語辞典(初版)』(2003) 大修館書店.

『新韓日辞典(例解)』(1996) 민중서림.

『옛센스 韓日辞典(전면개정판)』(2006) 민중서림.

『프라임 한일사전(제2판 전면 개정)』(2009) 두산동아.

『朝鮮語辞典』(2005) 小学館.

『엘리트 일한사전』(1993) YBM 시사영어사.

『옛센스 日韓辞典(제4판 전면개정판)』(2006) 민중서림.

『프라임 일한사전(제3판 전면 개정)』(2005) 두산동아.

金井孝利(2004) 『『美しき日々』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』キネマ旬報社.

安岡明子(2004) 『『オールイン運命の愛』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』キネマ旬報社.

林原圭吾(2012) 『鯨とり 対訳シナリオで学ぶ韓国語』白水社.

タルジャの春～(6)죽겠다([http://world.kbs.co.kr/japanese/program/program\\_koreadrama\\_detail.htm?No=74](http://world.kbs.co.kr/japanese/program/program_koreadrama_detail.htm?No=74))  
(검색일:2016.03.04.)

논문 투고 일자 : 2016. 08. 31.
논문 심사 일자 : 2016. 11. 02.
게재 확정 일자 : 2016. 11. 03.

---

 <要旨>
 

---

## 「jugda」と「死ぬ」との対照研究

李忠奎

本稿は「jugda」と「死ぬ」を対照言語学の観点から考察し、両者の間に見られる類似点と相違点を提示しようと試みたものである。その結果、共通点としては、i)対等な対応関係の見られる意味領域が存在すること、ii)「eoleo jugda」のような「~eo jugda」類と「凍えて死ぬ」のような「~て死ぬ」類は動詞句と認められること、iii)個別の事例として「gaejugeum」と「犬死に」は、形態構造上「名詞+転成名詞」の型を取っており、前部要素である「gae-」と「犬-」は〈無駄で何の役に立たない〉という意味の接頭辞として機能することを挙げることができた。そして、相違点としては、i)対応関係のずれが見られる意味領域が存在すること、ii)個別の事例として「a-igo juggessda」という表現は様々な場面で頻繁に用いられる韓国語特有の言い方であり、その際の日本語の対応形は状況や場面ごとに適切なものを選択する必要があること、iii)前部要素の程度が甚だしいことを表す補助形容詞「~eo jugda」と「~て死にそうだ」という言い方は使用頻度・使用範囲という点において相違が見られ、後者より前者の方が使用頻度が高く、使用範囲も広いことを示すことができた。従って、補助形容詞「~eo jugda」の対応形としては「~てたまらない」、「~てしかたがない」、「~てしょうがない」などの言い方か、近いニュアンスを持つより適切な別の言い方を選択するのが自然な場合が多いと言えるだろう。

## A Contrastive Study of Korean 'jugda(die)' and Japanese 'shinu(die)'

Lee, Chung-Kyu

The purpose of this study is to present the similarities and differences between the Korean verb 'jugda(die)' and the Japanese verb 'shinu(die)'. It has revealed that i) There is a meaning area that shows equal correspondence, ii) A kind of '~eo-jugda(die)' such as 'eoleo-jugda(freeze to death)' and a kind of '~te-shinu(die)' such as 'kogoete-shinu(freeze to death)' can be classified as verb phrases, and iii) As individual examples, 'gae-jugeum(useless death)' and 'inu-jini(useless death)' take the form of 'noun+transformation noun' on morphologic construction and 'gae-(dog-)' and 'inu-(dog-)', preceding factors, function as a prefix that means <useless>. In addition this study has also clarified another difference that i) There is a meaning area that shows a difference in correspondence, ii) As an individual example, 'aigo juggessda(oh, I am dying)' is a particular expression of Korean that is frequently used in a variety of situations, so it is necessary to select a fitting Japanese response to it for situations and scenarios, and iii) Assistant adjectives '~eo-jugda(die)' and '~te-shinisouda' show a difference in frequency in use and range of use. Use of the former is more frequent than use of the latter, and The usage range of the former is wider than the usage range of the latter. Therefore, there are many cases in which it is more natural to select expressions such as '~te-tamaranai', '~te-sikataganai', and '~te-syoutaganai' or other expressions with proper nuance as a correspondence form of an adjective '~eo-jugda(die)'